

中学校第1学年 道徳科学習指導案

生徒数 1 A 31名 1 B 31名
指導者 1 A 濱田 奈美 1 B 森田 浩章

1 主題名

その人が本当に望んでいること【相互理解 寛容】中学校 B (9)

2 ねらいと教材

(1) ねらい

和威さんの変化について考えることを通して、自分の考えや意見を伝えることの大切さに気づき、互いの考えや立場を尊重し、理解しようとする態度を育てる。

(2) 教材名

「思いやりの日々」(東京書籍 「新訂 新しい道徳1」 1年)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本指導内容は、内容項目 B (9) [相互理解、寛容] での「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと」を受けている。

人間相互の理解には、自分の考えや意見を発信するとともに、相手の立場に立ちその考えや意見を聴こうとする姿勢が必要である。自分の見方に固執するのではなく、相手の考えや立場を尊重し、その気持ちを推し量ることから理解が始まるものである。また、相手に何かをしてあげることがよしとする一方的な考えではなく、相手から発信される真の願いに謙虚に耳を傾け、相手の目線で考えることが双方にとっての理解や信頼につながることに気付かせることも大切である。

(2) 生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学年の生徒は、1 学期の教材「いじめに当たるのはどれだろう」で、人にはいろいろな見方や考え方があることや、相手の立場になって考えることが大切であることを学んだ。また、『自分の性格が大嫌い!』では、誰にでも短所や欠点はある、それを否定するのではなく、個性として認め合うことで自己肯定感を高め、充実した生き方につながることに気付くことができた。しかし、わかっているにしても、相手がどう思っているのか考えず自分のルールに従った言動をとる生徒や、相手に自分の考えを伝えることに消極的な生徒が多くいる。

そうしたことを踏まえ、本時では、和威さんの相手との関わり方に対する考えの変化を通して、自分の考えだけに固執するのではなく、相手の立場に立って理解しようとすることや、理解し合うために自分の考えや意見を伝えることが大切であることを自分自身の経験を思い返しながら深く考えさせたい。

(3) 使用する教材の特質や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本教材は、自分の考えに固執するあまり、妻の思いを十分に理解できなかった後悔を踏まえ、相手の意思を尊重し、よりよい関係を築こうとする和威さんの新たな関わり方が描かれている。

中学校学習指導案

指導に当たっては、和威さんが妻やホームヘルパー先の道子さんに対してどのような気持ちで接していたのかを共感的に押さえ、相手の受け止め方の違いについて考えさせる。相互理解のためにはどんなことが必要かを考える中で、自分のルールで一方向的な考えを押し付けるのではなく、相手の立場や個性、その思いを尊重することや、相手のことを考えるだけでなく、自分の考えを相手に伝えることの大切さに気付かせたい。教材を通して、自分の考えを理解してもらえなかったり、逆に、自分の思いを押し付けてしまい、受け入れられなかったりした自分の経験を振り返りながら、相手のことを尊重し、正しく理解していこうとする態度を育てたい。

4 学習指導過程

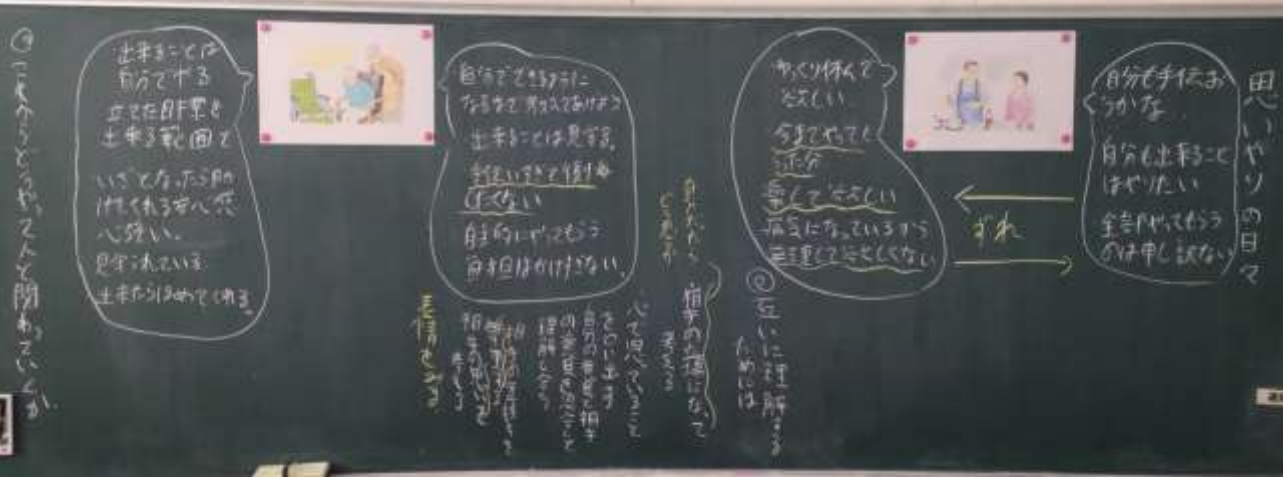
	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導 入	1 過去の経験を振り返る。	○自分のことを他の人に分かってもらえずに傷付いた経験はあるか。 (自分が相手の考えを理解していなかったと気付いたことはないか。)	・アンケートを事前にとり、出た意見を紹介する。
展 開	2 教材を読み、登場人物のそれぞれの気持ちを考える。	○和威さんは 2 人とどんな気持ちで接していたか。 ・病気で何もできないから全て自分が支えてあげる。(喜美世さん) ・出来ることは手伝わない、見守る。(道子さん) ㊦喜美世さん、道子さんは、それぞれどのような気持ちですか。 ・色々してくれてうれしいけど、何も自分で出来ないのはつらい。(喜美世さん) ・自分の目標を見守ってくれている。(道子さん)	・和威さんの関わり方による、喜美代さん、道子さんの反応の違いを比較できるように板書に可視化する。
	3 和威さん、喜美世さんがお互いに理解するために必要なことを役割演技を活用しながら考える。	◎お互いに理解するためにはどんなことが必要だろう。 ㊦もしやり直せるとしたら、どうするだろうか。(和威さんと喜美世さんの場面) ・相手の立場に立って考えを理解しようとする。 ・表情や仕草から気持ちを読み取る。 ・自分の気持ちを相手に伝える。 ・どう思ったか相手に確認する。	・自分の考えだけに固執するのではなく、相手の立場に立って考えること、自分の考えや意見を伝えることで相互理解が生まれることに気付かせる。 ・ペアで役割演技を行うことで、相手の気持ちを考えるためには必要なことがあることに気付かせる
	4 自分の経験を振り返って、人とどう関わっていく必要があるか考える。	○自分がしてきたこと、してもらったことを思い返してみ、あなたは人とどう関わっていきますか。 ・相手の立場になって考えることや気持ちを伝えることでお互いが理解し合う。	・自分自身の経験を思い返しながら深く考えさせたい。
終 末	5 本時の学習を振り返る。	○今日学んだことや考えたことをワークシートにまとめましょう。	

中学校学習指導案

【評価】

・相手の立場や考えを互いに理解しようとすることの大切さに気づき、相互理解について考えを深め、これからの自分自身の生き方について考えている。

5 板書



6 授業記録

教師の問いかけ等	生徒の反応
T 互いに今理解し合うためにどんなことが大切なのかというのをちょっと考えてみてください。ちょっと時間を取ります。 T 書いている途中でもかまいません。ちょっと前後左右、近くの人と1分くらい、こんなことが大切じゃないかな、と話してみて。こんなことが大切じゃないかな、前の人は体後ろ向けてね。 T ちょっとじゃあ、言ってくれる人。こんなことが大切じゃないかな。	S 互いに理解するために、相手の立場になって考える。 S 互いに理解するためには、心で思っていることをちゃんと口に出して言う。 S 自分の意見と相手の意見をほどよく混合して会話をする。 ほどよく混ぜ合わせて理解し合う。 S 相手の意見、相手の気持ちを考えて、まあ、考えた後、相手の、まあ、相手の言った「手伝いたい」という気持ちを尊重してあげて、何

